

# 市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

## 団体名 もばら検定ガス博士実行委員会

団体及び事業の概要：第2回のガス博士検定試験および講習会を実施した。本年度はコロナの影響もあり、受験者は昨年より少なかった。今回の特記事項として初めて実施した博士号試験で3名の博士号が誕生したこと、新聞社等のメディアの取材により認知度が向上した等があげられる。

代表者名

横堀喜一郎

記入日

2021年3月31日

評価項目と評価の観点	評価
<b>1. 団体運営</b> 総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業計画・予算を決議の上、事業を執行している。	A
<b>2. 情報公開</b> 紙媒体やウェブサイト、SNS等を通じて、団体の基本的な情報や活動内容を公開している。	A
<b>3. 目的</b> 団体の目的を明文化し、各事業のふりかえりや見直しを実施している。	A
<b>4. 法令遵守</b> 事業の執行にあたり、法令を遵守している。	A
<b>5. 会計処理</b> 資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会計年度ごとに監査を行っている。	A
<b>6. 市民参加</b> 事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取り、多様な市民の参加を得ている。	B

### 自己評価に関する 団体コメント

今年度の第2回ガス博士検定はコロナの影響もあり第1回の受験者数を超えることはできなかった。今後より多くの市民の皆さんにガス博士検定を知っていただき、より多くの方に参加頂けるように努めたい。

「市民活動団体の通信簿」は、団体の運営が適切に行われているかを点検するため、会計年度の終了後に、項目別に4段階※で自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動支援センター「まちびと Caffè」のウェブページ等で公開することにより、透明性の高い団体であることを広く周知することができます。

※4段階の自己評価

A：適切であった

B：改善を要する

C：抜本的な見直しが必要

D：不適切であった

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブページ等で公表することを了承しました。